

公表 ・ 事業所における自己評価結果

事業所名	ひだまりのおうち	公表日	2026年 3月 31日
------	----------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4	・利用する子によって配置を変えている。 ・利用者が多い時はスタッフで話し合い、その時のベストな状態で適切に対応している。	・日によってはご利用者が多く、スペースが狭いと感じる。事故のもとになると思うため、スペースの見直しが必要ではないか。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	・子どもの状態がよくないときは1～2名多めに配置した方がよいと思うが、職員が常に全体を把握して声掛け等できていると思う。	・職員数が少ないと感じる日もある。 ・職員が力を十分に発揮できていない気がする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		・必要なものはその都度片付けた方がよい。 ・感染対策が十分でない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	朝・夕で清掃を行っている。感染対策など配慮している。液体でモップ掛けを行い、エアコンの設置もある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	・個室の部屋はないが、状況に応じて職員間で連携し、パーテーションを用いて仕切りを設ける等、工夫している場面がみられる。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	・その都度話し合い、その後皆に周知している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・時間を見つけ、職員同士で意見交換ができている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	コンサルタントの方と定期的に会議を行っている	第三者評価を行っている内容が不明瞭。全員の意見を聞く時間が少ない。運営会議の内容をスタッフに伝える。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		・情報伝達はしているが、時間の保障が十分でないと思う。
適切 な 支援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		職員全体で考えていくことが必須
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	全員参加の検討会は実施されていないため、個々の考えが違う時がある。共通理解をどうやって行えるか？検討。児発管だけでなく、他の職員も計画案作成に取り組む	・職員全体で検討できていないこともあるように思う。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		・今より会議や話し合いの場を設ける必要があるのではないか。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・ツールはない。	フォーマルな部分は情報乏しい。ばらつきがある。必要なアセスメント情報を得る手段の検討
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	それぞれ皆に意見を出し考えてもらうようにしている	積極的に意見を出す職員とそうでない職員がいる

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	朝礼を行うも、送迎等が始まっており、時間を見つけて出来る時はやっている。また、参加できなかったスタッフには後程報告する	・支援内容は朝の会後に伝えてはいるが、朝の会前に共有できていないため、自分から伝えていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	振り返りを行える時は行って、次につなげている。	支援終了後打ち合わせをする時間が確保できていない時がある。常時行えることが必要。記録用紙の変更し共有する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	2	利用日以外のご家庭からの情報も聞き、記録をとっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	対象の児童の写真付き資料を準備している。利用する児童に関して、どのスタッフも状態や、特性を把握しているため、担合への参画も会での発言等も活発	他のスタッフも協力していく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	医療的ケアを行うので、関係機関との連携は密に行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	他事業所のイベントに参加した。商店街への散歩を定期的に行っている。こども食堂をのぞく程度。	・利用者の体調やさまざまな感染問題の点から難しいかもしれないが、地域の行事等から少しずつ参加、見学していけたらと思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	事業所内でのペアレントトレーニングの研修を行う		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	交流会の実施はないが、保護者同士の繋がりが持てるような支援をする努力をしている	父母の会の活動はないので、保護者の意見を聞く機会を作りたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	・招くことはないがこちらから出向いている。	・事業所の行事に招待はできていないが、地域の行事には参加できるよう体制を整えていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	年間の事業所内研修での実施以外にも、いつでもマニュアルの見直しを行えるようにしている	・マニュアルは職員全体でもう一度確認していきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2		・利用者それぞれが持参するものは何か、どうして必要なのか、など理解した上で訓練していきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	お薬手帳の変更等があった時に必ず保護者からコピーをもらっている。事前にチェックしている	お薬手帳の変更等があった時に必ず保護者からお薬手帳のコピーをもらう
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	指示書にチェックを入れてもらうようにしている	アレルギーは指示書で確認していく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		全スタッフへ統一した周知は今後の課題。専門的な研修が必要
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		ご家族との連携ができていないため、安全計画の周知を行う
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	迅速に話し合いを行い、再発防止に努めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		研修後に雇用したスタッフへの研修の機会を作る。周知徹底。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	完全ではないがマニュアルを意識している	身体拘束を理解し、必要に応じて対応していく。各スタッフへの周知徹底	